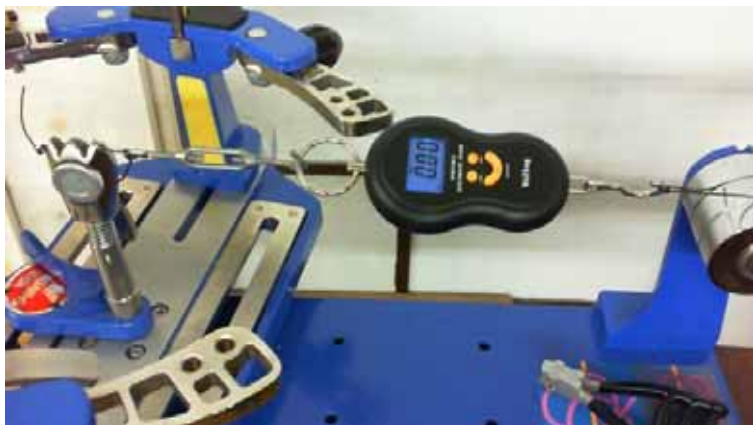


Home Stringing

ホームストリングング 分銅式ストリングマシンのテンションの掛け方注意色々

分銅式ストリングマシンを色々検証。

正しくテンションを掛けるには分銅を水平にセットするだけでは不十分？！。



計測方法 クランプと量りの間にターンバックルをはさみテンションロッドの微調整可能にして計測。(量りの重量 0.3lbs)

大変ざっくりした計測ですが。。

グリッパーのセット位置によるテンション変化

90度を基準にターゲット50lbsに分銅固定



45度 : 51.80lbs



70度 : 50.94lbs



90度 : 50.04lbs



110度 : 49.61lbs



135度 : 47.41lbs



160度 : 45.05lbs

上記のような計測結果が出ました。5lbsの誤差は見逃せない数値だと思います。計測法に精度がないのでまるまる信じれる計測値ではないですが、難しい結果です。このストリンググリッパーの方式では機械の精度によるロスか構造上のロスかは不明ですが、グリッパーのセット角度でこれだけの誤差が出るのは予想外です。現状のままでは、ターゲットの数値をコンスタントに出すのはとても注意が必要ということ？！

グripperの重さが影響しているのでは？。Gripperの単独の重量をはかると400gほどです。対角線上に同重量をセットすればよいのか？テストをして確かめました。



対角に釣り合うように重りをセット。

完璧に釣り合う状態ではないがテストは可能。

バランサー装着時のテンション変化

分銅は前回テストと同じ位置に固定



45度 : 50.13lbs



65度 : 49.59lbs



94度 : 49.27lbs



110度 : 49.38



135度 : 48.84lbs



160度 : 47.10lbs

数値変化の範囲は縮小したので考えとして正しいようなので、取りあえずよし。

50lbsのメモリの打ち直しをして、検証の終了。(結果ほぼオリジナルメモリ同りです)

これ知ってたらこの手の分銅は躊躇したかもです。ガンマの分銅式かストリングウェイの自動調整分銅式がいいですね。

とはいうものの今まで張ったラケットのほとんどは問題なく使えるレベルだったので、極端なGripperの位置さえ回避すれば1~2lbsの誤差は許容範囲なのでしょう。

この『**バランサー**』、メインのスタート右2もしくは右3を引くとき邪魔になりそうだけれど、どう回避したのか？

分銅のセット角度によるテンション変化

分銅 メモリ50lbsにセット (量りの重さ 0.3lbs)



47.20lbs (計測値そのままの値)



49.48lbs



50.45lbs



50.27lbs



49.79lbs



49.02lbs

メインのホールによるテンションロスの違い (設定テンションは50lbs)



2 : 49.12 lbs



3 : 48.24



4 : 44.12



5 : 44.47



6 : 45.76



7 : 45.93

ラケットによって計測数値は異なるだろうから、細かい数値は無視。

3-4間の差異は大きく4 lbs。3-6の差異が2 lbs なので、対処として4のテンションを2lbsプラスして引くことにする、それ以外の実テンション操作はとりあえずしない??!

[Top](#)

